

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・青少年健全育成委員会から「子ほめ運動」のお知らせ
- ・「厚真町の夢のある英語教育」の実現を目指して②
- ・あつまっ子ふるさと体験教室を開催
- ・塩澤さんからアップライトピアノ寄贈
- ・食物アレルギー対応研修会開催
- ・学校プール利用のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

青少年健全育成委員会からお知らせ 7月は子ほめ運動強調月間です！

毎年7月は「社会を明るくする運動」（法務省）「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動」（北海道）として位置づけられ、全国・全道で青少年健全育成の取り組みが行われています。

本町でも、青少年健全育成委員会が中心となり、7月を「厚真町子ほめ運動強調月間」として「叱(しか)る言葉はもう一度考えてから」「ほめる言葉は今すぐ口に出せ！」をキャッチフレーズに、学校・家庭・地域（各団体）が連携を図り、子どもたちの健全育成を推進する活動を行っています。

子どもが健やかに成長するためには、家族や地域の大人が子供の良さを見出し温かく見守ることが大切です。大人が子どもをしっかり見つめ「ほめよう」という心でいることにより子どもたちが朗らかで心豊かな成長が促されます。「子ほめ運動」を通じて地域が連携を図り、子どもたちの健やかな成長について考えていきましょう。

厚真町青少年健全育成委員会のおもな活動

- ・育成委員会会議（年1回）
- ・青少年健全育成メッセージ伝達（7月）
- ・巡回パトロール（田舎まつり・厚真神社例大祭）等
- ・変質者事件防止啓発「ひなんの家」「子ども安全パトロール」のぼり設置
- ・青色回転灯町内巡回パトロール
- ・長期休業中の児童生徒の生活のきまり発行

子ほめ運動強調月間

7. 1～7. 31

◆叱(しか)る言葉はもう一度考えてから

◆ほめる言葉は今すぐ口に出せ



7月は「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」

青少年を地域で育み、非行の防止や青少年の犯罪被害防止に取り組みましょう！

～子どもと向き合って～

大切なことは伝えましょう

- ◆子どもに物事の善し悪しをきちんと伝えることは大事なことです
- ◆周りの大人の助けなしに、子どもだけで正しく判断することは難しいものです。

うまくいかないこともあります、

- ◆子どもに悪いことや危ないことを伝えても、「自分の好きなようにやっているのだからいい」と取り合ってもらえないことがあります。

言っても聞かないと諦めずに、話をしましょう

- ◆「何度言っても聞かない」そんな時には、今までやってきたことをどこか変えるといい結果につながる場合があります。
- ◆小さな変化を積み重ねていけば、後で振り返るとき、きっと大きな変化につながるものです。

～電話悩み相談～

RCC苫小牧家庭生活カウンセリング協会一般電話相談 ☎0144-36-8582

☆学校や職場、家庭の人間関係、子育て、いじめ等いろいろな悩みや不安などご相談ください。

厚真町教育相談 ☎0145-27-2495

☆学習のこと、交友関係、非行、いじめ、不登校などお子様のことをご相談ください。

～子どもたちを守るために～

子どもに持たせる携帯電話やスマートフォンなどには、フィルタリングを！

携帯電話・スマートフォンなどは便利な道具である反面、使い方によっては危険もあります。

子どもを被害から守るためには、

- ◆フィルタリングをかける

- ◆使用時間を定める

- ◆利用料金の上限を定める

- ◆保護者の目の届くところで使用させる

などに配慮し、スマートフォンなどの新たな機器によるインターネットの利用を保護者が把握管理することが大切です。



「厚真町の夢のある英語教育」の実現を目指して②

前回は社会の国際化・グローバル化が急速に進む中、本町では平成24年度から他の地域に先駆けて文部科学省の「教育課程の特例校」の指定を受け、低学年からの英語活動を行っていること、その取り組みの概要と成果についてお知らせしました。

今回は、小学校低学年からの英語活動の導入における「国語力への影響」と「英語活動導入の成果」の検証状況についてお知らせします。

◆標準学力検査（CRT）から見る、小学校における英語活動導入の国語力への影響の検証◆

平成26年2月に実施したCRT（※1）による国語指導の達成状況調査では、どの学年も標準値 100 を上回り高い水準を維持し、国語力への悪い影響は見られませんでした。さらに2つの学年では、基準とした平成23年度の結果を5ポイント以上上回る結果を得ています。

※1. 年間の指導目標の達成状況を確認するためのテストで、指導目標への標準の達成状況を100として、受検した児童の達成状況を見ます。

※2. 表中 は平成23年度もしくは24年度の厚真町の結果で比較する指標値

◆英語活動導入の成果検証◆＜英語教育アンケートに見る成果と課題。そして、保護者の願い＞

関心意欲の変容

コミュニケーションへの意欲の変容

	H24年 2月 ↓ H25年 2月	H25年 2月 ↓ H26年 2月	学年	H24年 2月 ↓ H25年 2月	H25年 2月 ↓ H26年 2月
小低	=	=	小低	↑有意	=
小中	↓傾向	=	小中	↓傾向	=
小高	=	↓傾向	小高	=	↓傾向
小学校	=	=	小学校	↑有意 差あり	=
中1	=	=	中1	=	=
中2	↑有意	↓傾向	中2	=	=
中3	↑有意	=	中3	↑有意	=
中学校	↑有意 差あり	=	中学校	↑有意 差あり	=

児童・生徒の英語の学習状況について質問紙を用いた調査を行いました。調査内容は児童生徒には「関心意欲」「英語によるコミュニケーションへの意欲」で、保護者には保護者から見た「児童生徒の英語学習への関心意欲」と「英語教育の実施に関する理解状況」の項目で実施しました。

その結果、児童・生徒への調査から、平成24年度の英語への関心意欲、コミュニケーションへの意欲の高さに大きな変化はなく維持されていることが確認されました。

見えてきたことは2点、英語への関心意欲の高さは、小学校低学年＞中学生＞小学校中学年・高学年という関係と、英語への関心意欲において小学校4年生時に谷となる現象です。これらの結果は、これからの取り組みの中で検討し本町の英語教育の一層の改善につなげていきます。保護者アンケートからは保護者が「児童・生徒の英語への関心意欲は学年が下がるほど高い」と認識していることが明らかになりました。また、保護者は、「将来使える英語（話せる英語）」を希望し、本町の英語教育への関心の高さから「授業参観の機会を求める声」が見られました。

昨年まで見られた「受験指導への不安」の声は今回のアンケートからは見られませんでした。

＜児童英検の結果から…課題であった会話領域も含め昨年度を大きく上回る＞

分類	総合正答率		語句		会話		文章	
	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度
厚真町	87.1	90.9	88.4	92.2	83.6	88.9	89.9	91.3
特例校	86.6	86.3	88.2	87.9	84.5	84.2	86.7	86.4

児童英検は、英語学習の入門期に最も大切と考えられているリスニング力（英語を聞き取る力）を中心としたコミュニケーション能力を測ることを目的としたテストです。昨年度に引き続き本年2月、6年生が受検したブロンズ級は初めて英語によるテストを受ける児童に最適なもので、全国のエデュケーションの特例校の多くでも活用しているものです。

その結果は上の表に見るように本町とほぼ同様な学習環境にあると考えられる特例校のグループの平均を大きく上回ると共に、昨年度課題であった会話領域においても大きく成果をあげています。



厚南中学校1年生の授業より

あつまっ子ふるさと体験教室を開催

6月8日、とまこまい広域農業協同組合青年部厚真支部と町教委放課後子ども教室の共催で、『あつまっ子ふるさと体験教室』が開催されました。当日は、町内の小学生19人が参加し、新町・堀田さんの水田で田植え体験を行いました。

田植え作業では、先生役の農協青年部員が、自ら考案した田んぼを使ったクイズで、農業や田植えの知識を子どもたちに指導。子どもたちは、泥の感触に歓声をあげながらも青年部員の指導のもと、10aあまりの田んぼに無事に作付を終えました。

指導役の農協青年部員以外にも、町内外から多くのボランティアスタッフの協力があり、子ども達は充実した活動を行うことができました。

今後も厚真の産業や地域の人々、食に触れる地域体験プログラムとして、収穫物を使った商品開発や販売体験など年間を通じた活動が展開される予定です。



中央小昭和52年度第30回卒業生 塩澤さんからアップライトピアノ寄贈

現在は東京都品川区に居住されている町内朝日出身の塩澤啓美（旧姓・幅田）さんから、このほど、教育活動の充実にと中央小学校にアップライトピアノが寄贈されました。

幼小時代から実家で愛用していたピアノは、よく手が行き届き新品同様の輝きとハリのある音色を奏でる貴重品。ピアノは同校2階ホールに置かれ、子どもたちは休み時間に手軽に触れることができます。中休み時間にピアノを弾いていた沼田咲羽さん（2年）は「いい音が出るピアノでうれしいです」と笑顔で話していました。



5月定例教育委員会

5月29日に開催された定例教育委員会の会議の内容についてお知らせします。

◆報告事項

英語教育推進委員会、学力向上推進委員会、埋蔵文化財発掘事業作業員辞令交付、英会話教室、さわやか登山会、自治会対抗パークゴルフ大会について（6件）

◆議案

教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について

◆その他

教育四者懇話会、北海道市町村教育委員研修会の開催について（2件）

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ TEL27-2494

食物アレルギー対応研修会開催

保育園、各小中学校、保護者、消防署、学校給食関係者などを対象にアレルギー対応研修会が6月10日、総合ケアセンターで開催され、KKR 札幌医療センター副院長の高橋豊氏が「食物アレルギー児への対応」と題して講演しました。

講演では、食物アレルギー発症の仕組みやアレルギー症状が起きたときの対処法、病院での治療法などが最新情報を交えて解説されました。

さらに、アレルギーは原因排除といった対応だけでなく、アレルギーの起因となる食品の摂取量を少しずつ増やしていく「経口免疫療法」により、加齢とともに症状が緩和されていくものでもあるという報告も行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、講演後にはアレルギーによりアナフィラキシーショックを起こした際の症状緩和に有効な「エピペン（登録商標）」注射薬の使い方について、高橋副院長の指導を受けながら練習用器具を用いて学んでいました。



学校プール利用のお知らせ

今年も次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。

お気軽にご利用ください。

期 間 7月13日【日】～9月3日【水】

ただし、8月14日【木】～16日【土】は水の入替えや水質検査のため閉鎖します。

時 間 平 日 14時～17時
土日祝日夏休み 10時～17時
(12時から13時まで昼休み)

問合せ 教育委員会学校教育グループ
TEL 27-2494



図書室だより

青少年センター図書室

Tel 27-2495 (平日)



展示コーナーのご案内



図書室では皆さんにおすすめしたい図書についての展示を行っています。図書室入ってすぐのエントランス展示は約半月ごとに季節の展示や、話題の特集などを行っています。また、こどもの広場内のパネル「このえほんなーんだ？」や、検索用パソコン横とエントランス展示の後ろのミニ展示なども行っていますので、図書室にお越しの際はぜひご覧ください。

7月上旬の展示は「夏だ！冒険にいこう！」です。実際に冒険するのは大変ですが、本なら手軽に体験できます。ぜひ読んで体験してみてください。



6月下旬の展示の様子

今月のおすすめ本

暑さに負けない！レシピ特集

あな吉さんのゆるベジひんやりスイーツ

浅倉 ユキ/著



にんじんアイス、まるごといちご白玉、…。卵・乳製品・白砂糖・小麦粉を一切使わず、米粉をおともにしたひんやりスイーツのレシピを紹介します。

おいしい&ヘルシー感動お酢レシピ

主婦の友社/編



料理をおいしくして、体にもいい、酢を使ったレシピを紹介。メインのおかずから、お弁当にぴったりの小さなおかずやデザート・ドリンクまで。

青少年センターからのお知らせ

～天体観望会「土星を見てみよう」～

7月7日は土星・火星の2つの惑星、月とおとめ座のスピカが近い位置で観察できます。

そのなかでも土星は太陽系の惑星で2番目に大きくしま模様と星を囲む環が特徴の見ごたえのある惑星です。ぜひこの機会に天体望遠鏡で実際に観察してみませんか。

と き 7月7日(月)午後7時00分～8時30分
※悪天候の場合は8日、8日が悪天候の場合9日に延期

ところ 青少年センター2階ホール集合
申込み 教育委員会 社会教育グループ
Tel 27-2495

プラネタリウム上映会「夏の星空と星座」

と き 7月17日(木)午後6時30分
※晴天の場合は引き続き天文台で観望会を実施します。

ところ 青少年センター2階ホール集合
問合せ 教育委員会 社会教育グループ
Tel 27-2495

～世界の昆虫展～

夏休み恒例の「世界の昆虫展」を、今年も青少年センターで開催します。

厚真町や北海道内で見られる昆虫から、遠く熱帯の国々に生息する昆虫まで、世界の昆虫標本を展示します。

お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

と き 7月25日【金】～8月19日【火】
午前9時から午後5時まで

(火・木は午後7時まで)

ところ 青少年センター2階ホール
問合せ 教育委員会 社会教育グループ
Tel 27-2495

～ATTENTION！～

※天体観望会・プラネタリウム上映会は夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。



新着図書紹介

ここに紹介している以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用ください。

一般書

『吉祥寺よろず怪事請負処』

結城 光流/著

庭師の家系の大学生・保に、先輩・香澄から木を守ってほしいとの依頼が。それを解決する庭職人・啓介は、なんと陰陽師だった



- ・廉恥 今野 敏/著
- ・オール・ユー・ニード・イズ・ラブ 小路 幸也/著
- ・憂いなき街 佐々木 譲/著
- ・満月の道 宮本 輝/著
- ・あぼわずらい 新野 剛志/著
- ・クラスメイツ 前期・後期 森 絵都/著

児童書

『たべものくらべっこえほん』

高岡 昌江文/著

キャベツとレタス、バターとマーガリン…。子どもたちが間違えやすい食品をイラストと文でくわしく解説します。



- ・モンスター・ホテルでおひさしぶり 柏葉 幸子/作
- ・ふたり 福田 隆浩/著
- ・10分で読める冒険やまほうのお話 横山 洋子/選
- ・カプトムシ山に帰る 山口 進/著
- ・ともだちは、サティー! 大塚 篤子/作

実用書

『ラクするための片づけルール』

吉川 永里子/著

子どもと一緒に片づけるアイデアが満載! 2LDK 賃貸マンションで4人家族がスッキリ心地よく暮らせるワザを紹介します。



- ・パートナーにイラッとしたとき読む本 武田 双雲/著
- ・夜回り先生子育てで一番大切なこと 水谷 修/著
- ・中身の本 衣食住の棚や箱 地球丸出版
- ・地域を変える高校生たち 宮下 与兵衛/編
- ・謎の絶滅動物たち 北村 雄一/著

絵本

『こんや、妖怪がやってくる』

君島 久子/文

妖怪に食われると泣くおばあさんを助けるため、たまごたちが大活躍! 中国少数民族トゥ族に伝わる愉快的な昔話です。



- ・よわむしモンスターズ1 のぶみ/さく
- ・なかよしぱっくん 新井 洋行/著
- ・とまとさんがね… とよた かずひこ/さく・え
- ・かしこくいきるしまりす 手島 圭三郎/絵・文
- ・ノラネコぐんだんきしゃぼっぽ 工藤 ノリコ/著
- ・ながいでしよりっぱでしょ サトシン/作
- ・ふたごのたこたこウィンナー 林 木林/作

～図書室からのお知らせ～

■7月の休館日

7月21日【月】は祝日のためお休みです

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）

午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）

■絵本の読み聞かせ

おはなしのびっこ 7月24日【木】

午前10時30分から午前11時



みなさんぜひ見に来てください!

■7月の移動図書

4日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

11日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

16日【水】

ともいき荘 午後2時00分～2時30分

18日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

25日【金】

さくら保育園 午前9時50分～10時00分

宮の森保育園 午前10時10分～10時25分

☆放課後子ども教室☆

木々の葉の緑も濃くなり、虫たちの活動も活発になってきました。リラ冷えも過ぎ、緑のじゅうたんが敷かれた田んぼ。初夏の景色はとてもさわやかですね。この時期の子どもたちは運動会シーズン真っただ中。ただいまと帰ってくると、その日の運動会の練習の様子を色々と話してくれています。

運動会に向けて、今年は初めて走り方を楽しく学ぶプログラムを実施しました。苫小牧市内でスポーツクラブを行っている『とまこまい・あそび塾』より講師の先生にお越しいただいたり（いずれも高学年の活動日）しながら、速く走るためのコツを伝授してもらいました。腕を良く振ること、太ももを高く上げること、歩幅を大きくすること。教わったことはすぐに実践して身につけていきます。「オニごっこや習い事のスポーツをするときも、これらのことを意識すると速く走れるようになって、走るのが楽しくなると思うので運動会も頑張ってください」と講師の先生から激励を受けました。運動会では練習の成果が出せたでしょうか？



真剣に話を聞いて、レッツトライ！

6月のプログラムでは、コミュニケーションミニゲームと題し、自分が持っている情報を相手により良く伝えるためにはどうすれば良いのか、チームで考える遊びや、身近な素材を使つての実験教室などを行いました。コミュニケーションゲームでは、カードを一人一枚引き、そこに書いてある単語を手がかりに仲間を集めるゲームや、言葉と動きで伝えるジェスチャーゲームを実施。チームごとに出されたお題に対し、4つのヒントを考えて、そのお題を他のチームに当ててもらうゲームでは、どうすれば相手にわかってもらえるかをみんな真剣に考えている姿が印象的でした。あるチームではお題に対して『ブラジル』『4年に1度』『本田』『日本代表』というヒントを考えました。子どもたちはすぐに答えがわかったようです（ちなみに、お題は『サッカーワールドカップ2014』でした）実験教室では、液体が固体に変化する不思議を体験。低学年は牛乳と生クリームを合わせてペットボトルに入れて振り混ぜると固まってバターになっていく実験を、高学年では温めた牛乳に酢を入れると塊りができはじめ、カッテージチーズ（牛乳豆腐）ができるという実験をしました。子どもたちはお互いにアイデアを出し合い、考えたことを実際に試していくという作業を楽しんでいる様子でした。どうして液体だった牛乳が固まったのか、それは宿題にしています。遊びの中に「なぜ、そうなるのか？」という好奇心のタネをたくさんまいていきたいと思います。



みんなで協力して
1つの絵を完成させます。



どうすれば相手に伝わるかな？



ジャンケンゲームも白熱！



頑張って振ったらバター完成☆



固めるには冷やす？温める？

6月8日（日）に放課後食育プログラム【あつまっ子ふるさと体験教室】という特別教室を行いました。農協青年部のみなさんにご協力をいただき、農家さんのお仕事について体験的に学んだ子どもたちは「お米を育てるのには色々な機械を使うんだと初めて知った」「ぬかるむ田んぼの中でも青年部のお兄さんたちはまっすぐに歩けるのがスゴイと思った」など色んな発見をしたようです。子どもも大人も一緒になって楽しみ、終始、和やかな雰囲気が流れる活動となりました。ご協力いただいた皆様にあらためて感謝申し上げます。次回は夏休み明けに畑作をテーマにした活動を予定しています。

